

インターロッキングブロック舗装 Technical Report

－ 施工編 － (その10)

Vol.42

1. ILブロックの目地調整

ILブロックの目地調整について以下に示します。

目地通りの凹凸についての注意点

- (1) 基準線に従い、水糸を縦横に直交させて張ります。
- (2) 目地砂をいれる前に、目地の通りを調整します。
(広い場所の場合は、その都度、調整します)
- (3) 目地通りの補正には、ボール類の適宜な道具を使用します。

◆用意するもの：水糸、メジャー、コンベックス、マイナスドライバー、ボール、プラスチックハンマー、木ハンマー、あて木

- ① 基準線をはみ出したブロックは、あて木をあてハンマーで叩き、目地の通りを出します。
敷設時に、あて木のない場合は、プラスチックハンマーか木ハンマーを使用します。



- ② 引っ込み過ぎたブロックは、水糸に対する出入りをマイナスドライバーやバールで調整します。



- ③ 目地砂を入れる前に、目地の通りを再調整します。目地砂が入るとブロックは動かなくなり、目地調整ができなくなります。作業にあたっては、ブロックが欠けないように注意します。

以上